# 京都大学での教職員スケジュール同期の事例紹介

~GaroonスケジュールとGoogleカレンダ の自動同期による業務改善~

2021年1月29日

京都大学 情報環境機構 IT企画室 永井 靖浩

<アブストラクト> 京都大学では2018年度 業務系システム・ サービスをパブリッククラウドへ大規模移行した。

今回は、これらの移行の課題や考え方の概要を紹介するとともに、ポイントの1つとなった教職員のスケジュール管理の成功事例を紹介します。

具体的には、教員と職員の利用の違いを力バーすべく、スケジュール共有を実現した方法と、その効果について報告します。

## 本日のお話の内容

- 1. 背景(従来の課題と対策)
- 2. クラウド移行した基本的考え方@2018年度
- 3. 全面的クラウド移行の全体イメージ
- 4. 教職員グループウェアのマルチクラウド構成
- 5. GaroonとG Suiteで提供しているサービス
- 6. GaroonスケジュールとGoogleカレンダーの同期
- 7. 教員と職員の利用傾向分析(Garoon & G Suite)
- 8. 応用例としての講義スケジュール設定
- 9. 本施策の効果(定性的レベル)

# 1. 背景(従来の課題と対策)①

- ■教職員グループウェア(教職員ポータル): 2005年度から約13年間運用してきたグループウェア (Notes/Domino:オンプレミス)で、カスタマイズを多用してきたため、運用・保守コストが負担となっていた.
- ⇒(対策)SaaS型グループウェアへの移行
- ⇒(対策)グローバルにサービス提供されているAPの利用
- ■教職員用メール:
- ・2010年度から約9年間運用してきた教職員用メール (Mail Suite:オンプレミス)は、過去2回、メールディスク装置のI/O性能が低下で業務を著しく停滞させた.
- ・メールで重視すべきは"可用性"と再認識した.
- ⇒(対策)SaaS型メールサービス(例: Gmail)への移行
  - ※2014年度の調査で、教職員の多くが、Gmailと Googleカレンダーを利用している事が判明している

# 1. 背景(従来の課題と対策)②

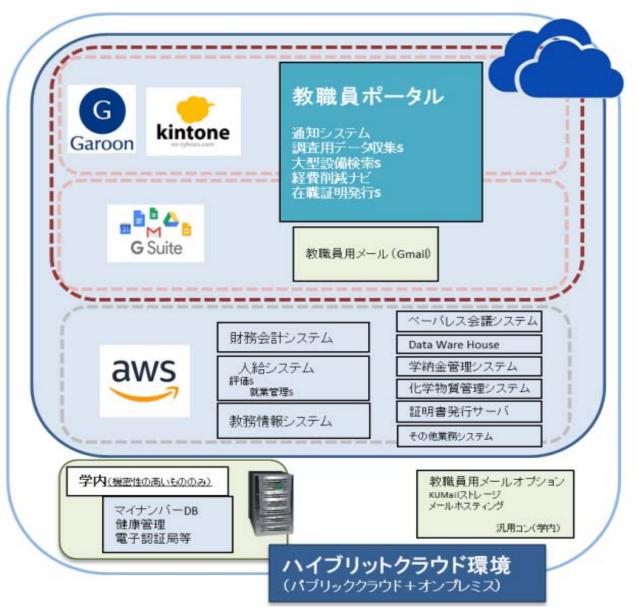
- ■教職員グループウェアで"教員"の利用が低い:
- ・職員の利用は業務上非常に高い.
- 教員への情報提供は、部局個別で行っているため、 教員がグループウェアにアクセスする機会が少ない。
- ⇒(対策)教員がアクセスしたいようなメニューを グループウェアから誘導する(例: KULASISへのリンク).
- ⇒(対策)Googleサービス(G Suite)を絡める.
- ■教職員の会議などに係るスケジュール調整:
- 会議など教職員のスケジュール調整などの"作業"は、 事務の負担になっている。
- •教員の講義スケジュール管理も負担となっている.
- ⇒(対策)メールサービス(例: Gmail)にバンドルしている スケジュールAP(例: Googleカレンダー)の利用

## 2. クラウド移行した基本的考え方@ 2018年度

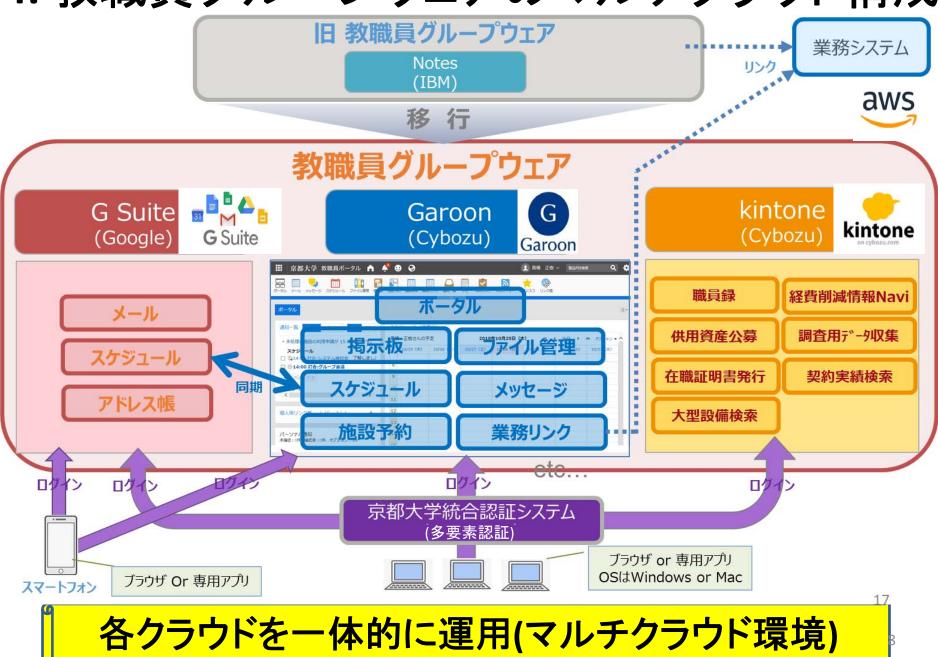
- ・最新で標準的な業務サービス(SaaS)の活用による利便性の大幅向上
- ⇒教職員グループウェア(教職員ポータル): Garoon
- ⇒メール付随AP: G Suite
- ・重要な教職員用メールサービスでは可用性の 担保と運用管理コストの抑制(SaaS)
- ⇒クラウドメール: Gmail(G Suite)
- ・従来のサービスレベルを維持できること
- ⇒個別APは開発プラットフォーム(PaaS)利用: kintone

# 3. 全面的クラウド移行の全体イメージ

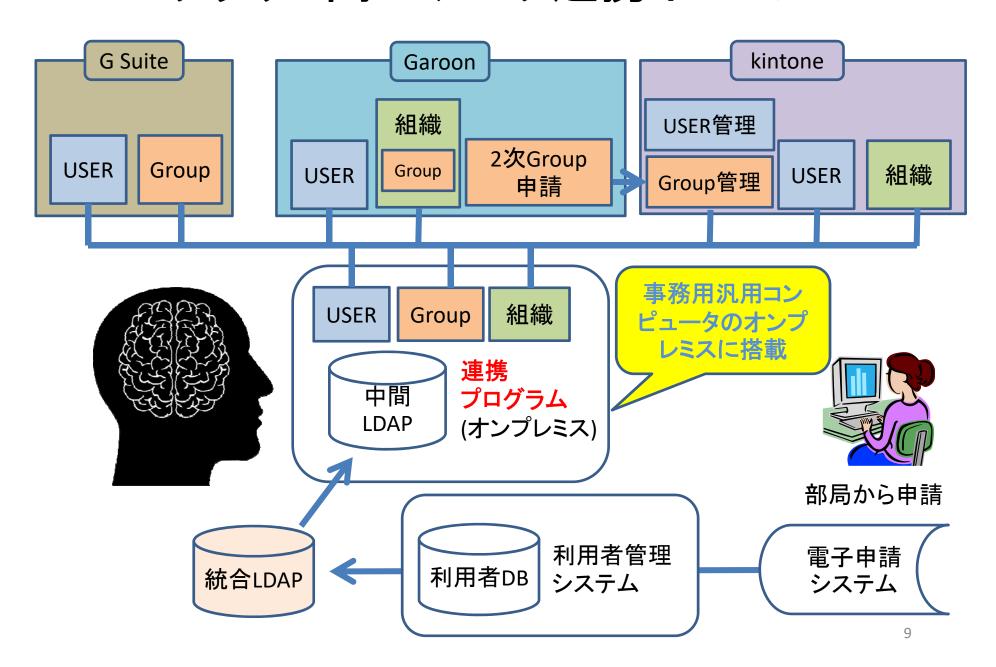
パブリッククラウド



# 4. 教職員グループウェアのマルチクラウド構成



# クラウド間のデータ連携イメージ

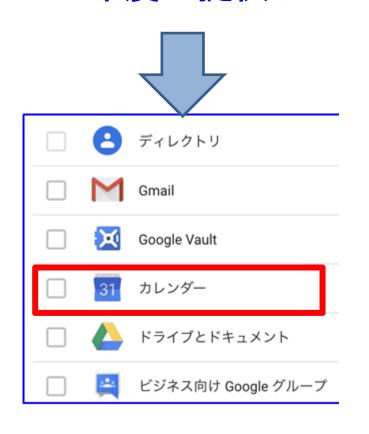


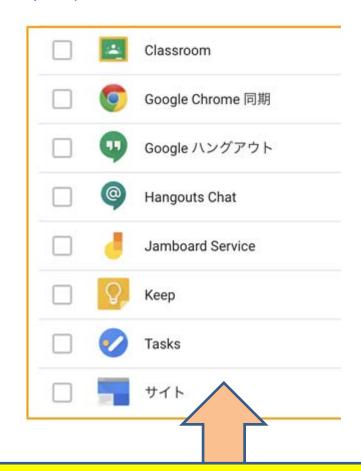
#### 5. GaroonとG Suiteで提供しているサービス

- ■グループウェア(Garoon):
- ・サイボウズ社のGaroonをSaaS形態で利用するため、 デフォルトの表示/非表示などパラメータ設定が中心.
- ・ポータルの画面構成やメニュー配置はNotes/Dominoをできるだけ踏襲することとした(サービスレベルの維持).
- ・典型的なAPは、掲示板、ファイル管理、スケジュール、施設予約、2次グループ申請などで、他業務APに対しては、従来通りリンクを貼る構成。
- \*SaaS形態であるため、京都大学の独自カスタマイズはできない、従って、業務を教職員ポータル(グループウェア)に合わせてもらうため、業務標準化が期待できる.

# ■G Suite京大テナントの提供アプリケーション

#### 2018年度に提供したG Suiteコアサービス





アンケートを実施し、新規導入APを選定(年度単位) 現在、Meet, Chat, Form, ToDoリスト, Site等提供中

#### 6. スケジュールとカレンダーの同期

多くの教職員がGoogleカレンダーを利用しているため、GaroonスケジュールをGoogleカレンダーと同期させた.

⇒教員を取り込むキラーアプリとして期待している.

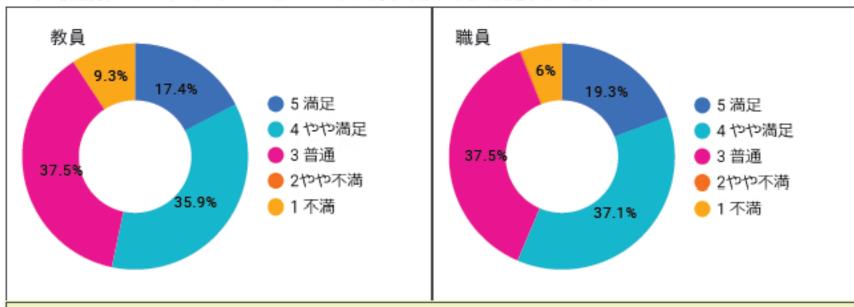
(※PIMSYNCという同期ツールを利用)

Garoon と G Suite を連携し GoogleカレンダーとGaroonのスケジューラーを同期



# 7. 教員と職員の利用傾向分析① (Garoon & G Suite)

- 教職員グループウェア(Garoon、G Suite)に対する満足度
- ■Q1. 教職員グループウェア(Garoon、G Suite)に対してどのくらい満足していますか?



教員・職員ともに全体的な満足度は高い 「やや不満」「不満」と回答した人の割合が、前回アンケート結果の18%から8%に減少した

#### 実施期間

2020年11月26日(木)~12月25日(金)

#### 回答方法

Googleフォーム

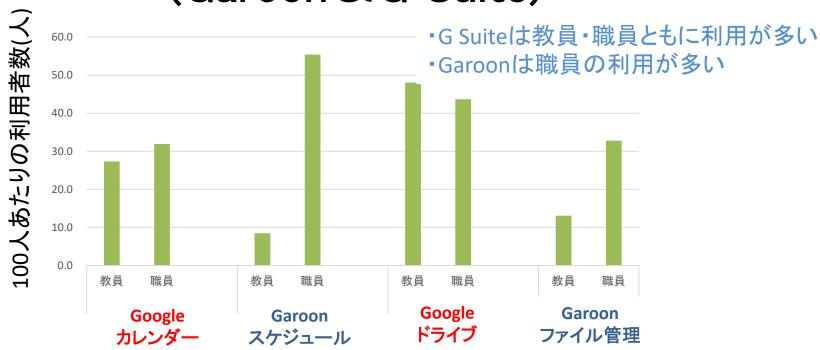
#### 回答状況

回答率: 約7% 回答者数: 831人

(教員: 259人,職員: 572人)

対象: 12,418人(教員: 5,555人 職員:6,863人)

# 7. 教員と職員の利用傾向分析② (Garoon & G Suite)



- 教員および職員ともにGoogleカレンダーの利用は多く、約30人程度。
- •Garoonスケジュールの利用は、職員が約55人と非常に多く、教員は少ない、

⇒カレンダーとスケジュールは同期しているので、教員と職員は相互に共有できている!

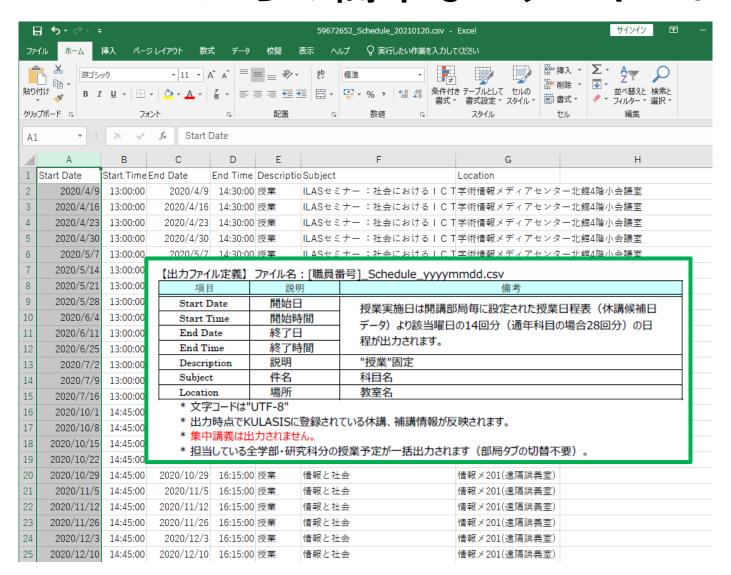
#### <参考>

- 教員および職員ともにGoogleドライブの利用は多く、約45人程度。
- •Garoonファイル管理の利用は職員が約33人と多く、教員は約13人と少ない。

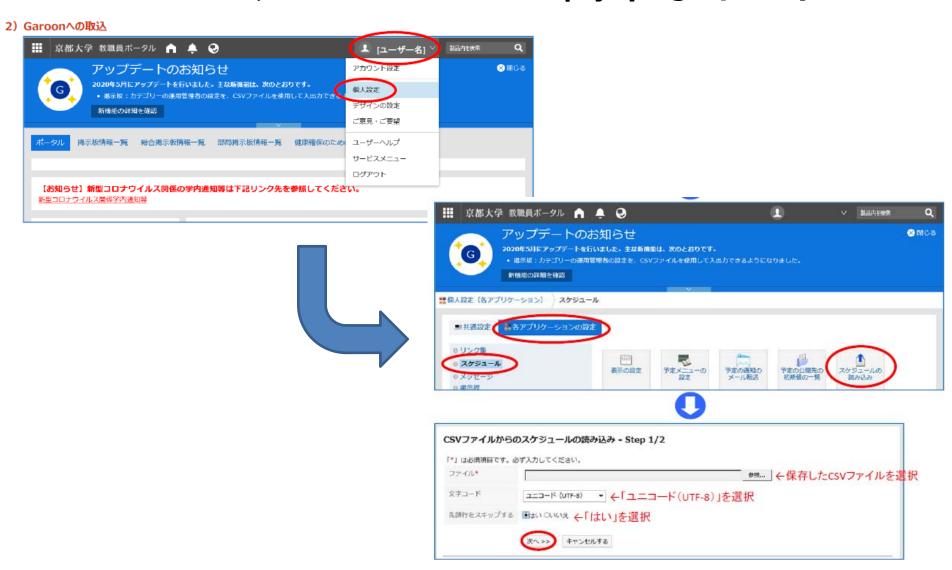
# 8. 応用例としての講義スケジュール管理



### KULASISからの簡単なエクスポート



# Garoonスケジュールへの簡単なインポート



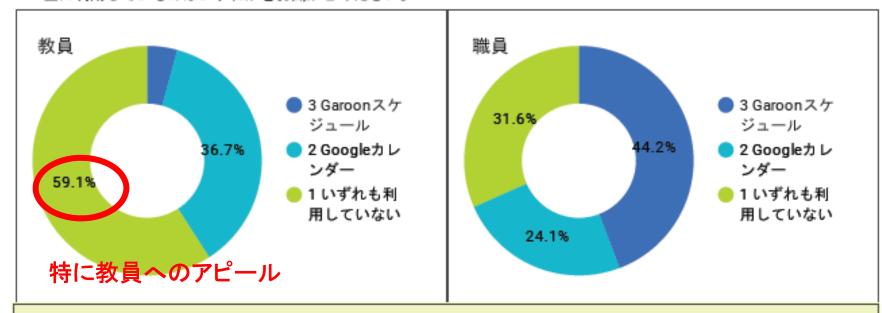
#### 9. 本施策の効果(定性的レベル)

GaroonスケジュールとGoogleカレンダー自動同期により、 以下のような効果が出始めている

- 年間の会議予定など会議出席者に代わり、事務が入力 を代行する機会が増えている。
- ・業務打ち合わせも、打ち合わせ主催者が参加者の カレンダーに代行入力している.
- ・アカデミックカレンダーに基づく、講義予定なども教員が 簡単にスケジュール入力することが可能になった.
- 教職員のスケジュールは、グループウェア(Garoon)にて 把握でき、スケジュール調整が楽になっている。
- 教職員自身のスケジュールは、ブラウザやスマホなどで 随時容易に閲覧できる。

# 今後の課題

- GaroonスケジュールおよびGoogleカレンダーの利用について
- Q5. 教職員グループウェアではGaroonスケジュールとGoogleカレンダーの予定を相互に同期しています。 主に利用しているのはいずれかをお聞かせください。



教員より職員の方が全体的に利用率が高い 教員はGoogleカレンダー、職員はGaroonスケジュールを主に利用している人が多い

回答者数:831人 (教員:259人,職員:572人)

大学が提供しているITサービスをもっと意識してもらう活動が必要